

# 令和6年度 大阪文化祭賞 贈呈式

主催 大阪府 大阪市 公益財団法人 関西・大阪21世紀協会



受賞者（前列）と各部門の審査委員長ほか（後列）

2024(令和6)年度

## 第61回大阪文化祭賞を贈呈しました

(2025年3月17日／NCB会館)

関西・大阪21世紀協会は、大阪府・大阪市とともに、芸術文化活動の奨励と普及、大阪の文化振興の機運醸成を目的に、「大阪文化祭賞」を贈呈しています。1963年に創設され、今回で第61回目を迎えるこの賞は、大阪府内で1年間に上演された公演の中から、とくに優れた成果をあげた公演に対して贈られます。関西の著名な芸術家・文化人・ジャーナリストらが審査員を務め、第1部門「伝統芸能・邦舞・邦楽」、第2部門「現代演劇・大衆芸能」、第3部門「洋舞・洋楽」の各分野から、独創性、企画、内容、技法などの総合的に優れた公演が推薦・選考されました。

### 竹本千歳太夫さんら計9公演に贈呈

今年度も、多数の公演が推薦され、審査員による厳正な審査のもと、各部門の受賞者が決定しました。今年度の大阪文化祭賞は、竹本千歳太夫さん、旭堂南海さん、地主薫バレエ団に、また将来の期待を込めた大阪文化祭奨励賞には井上安寿子さんら個人や団体に贈られました。

竹本千歳太夫さんは、「由良助」の性根を見事に表現するとともに、重鎮の太夫としてこの段全体をまとめ上げ、観客を魅了する素晴らしい舞台成果を挙げたとの贈賞理由が読み上げられた後、「ご指導いただいた先輩方、この段で一緒に出ていただいた太夫、三味線弾き、人形遣いの皆様方のおかげでいただいた賞と思っております。これからも文楽のために色々と尽くしていきたい」と述べました。

旭堂南海さんは、還暦記念の独演会を開催し圧巻の話芸を見せ、また後世に残すため10年の歳月をかけた『難波戦記』などの音源収録は東西随一の偉業と称えられ、「講談という、本来なら日の当たるところに出てきてはならないような人たちのやっている芸に光を当ててもらい、本当に恐縮至極でございます」と、会場の笑いを誘いながら感謝の意を表しました。

世界に誇るバレエダンサーを数多く育ててきた地主薫バレエ団代表の地主薫さんは、自身の舞踊生活60年の節目として「運命」をテーマに古典と現代作品に取り組み、その成果が評価されました。「受賞で皆の努力が報われたと、とても感謝しています。地主薫バレエ団は、古きを



旭堂南海さん(受賞記念公演にて)

尊重し、また新しいことにも臆せず挑戦し、これから大阪のバレエ発展のために団員の力を合わせて進んでいきたい」と述べ、会場からは大きな拍手が送られました。

贈呈式後の受賞記念公演は、旭堂南海さんによる『寛政力士伝』より『小野川と雷電』の一席。迫力ある卓越した話芸に魅了され、会場は大きな笑いに包まれました。「続きはまた・・・」と深い余韻を残す最後の声に、出席者の間からは名残を惜しむため息も漏れましたが、受賞者のたゆまぬ努力と情熱に惜しみない大きな拍手が贈られました。

関西・大阪21世紀協会は、芸術・文化分野における人材育成やアーティスト支援の一環として、大阪文化祭賞の事業運営を事務局として行うとともに、受賞者の一層の励みとなるよう副賞賞金として大阪文化祭賞に20万円、奨励賞に5万円をそれぞれ贈呈しています。

## 2024(令和6)年度・各部門の受賞者

「」内は受賞公演名／敬称略

### 第1部門

伝統芸能・邦舞・邦楽

**大阪文化祭賞** ▶ 竹本 千歳太夫 「11月文楽公演 仮名手本忠臣蔵『祇園一力茶屋の段』」

**大阪文化祭奨励賞** ▶ 井上 安寿子 「新進と花形による舞踊・邦楽鑑賞会『鉄輪』」 片岡 千次郎 「第九回あべの歌舞伎 晴の会『伊賀越道中双六』」

### 第2部門

現代演劇・大衆芸能

**大阪文化祭賞** ▶ 旭堂 南海 「旭堂南海還暦独演会」

**大阪文化祭奨励賞** ▶ A級MissingLink 「富士山アンダーグラウンド」 ばぶれるりぐる 「川にはとうぜんはしがある」

### 第3部門

洋舞・洋楽

**大阪文化祭賞** ▶ 地主薫バレエ団 「地主薫バレエ団ダブル・ビル」

**大阪文化祭奨励賞** ▶ 井上 玲 「井上玲リコーダーリサイタル」 「さすらうこえ\_さすらうからだ」メンバーズ 「さすらうこえ\_さすらうからだ」

## 大阪文化祭賞 受賞者コメント



(提供：国立文楽劇場)

竹本 千歳太夫さん (人形浄瑠璃文楽座 太夫)

大変光栄に存じます。四代竹本越路太夫師匠、今日までご指導いただきました先輩、師匠方へ心より感謝申し上げます。『一力茶屋の段』でご一緒させていただきました太夫、三味線弾き、人形遣いの方々に感謝の気持ちでいっぱいでございます。これからも、どうぞよろしくお願い申し上げます。



旭堂 南海さん (講談師)

講談に光を当ててくださり嬉しいです。還暦を迎え『解体新書誕生』という新作を披露しました。杉田玄白と前野良沢の葛藤を、自分自身のテーマとして筋を考えました。新作を作る機会を与えてくださった皆様にも感謝申し上げます。



地主薫バレエ団 (代表：地主 薫さん)

この度は由緒ある大阪文化祭賞拝受の栄誉を賜り、光栄で身が引き締まる思いです。これもひとえに多くの皆様方のご尽力があつてこそと深く感謝申し上げます。これからも甘んじることなく、微力ながら大阪のバレエ発展に貢献できるように励んで参りたいと存じます。

## 大阪文化祭奨励賞 受賞者コメント



(提供：国立文楽劇場)

井上 安寿子さん (舞踊家)

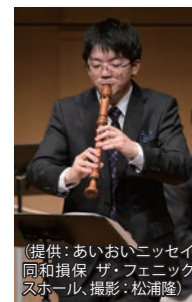
この度は、大阪文化祭奨励賞という輝かしい賞を頂戴し誠に光栄に存じます。どんくさい私ですが、気合を入れ直して、京舞のために尽力してまいります。ありがとうございます。



(撮影：脇田友(スピカ))

A級MissingLink (劇作家・演出家：土橋 淳志さん)

この度は、このような栄誉ある賞を受賞することになり、今まで劇団の活動を応援して下さった多くの皆様に感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございます。



(提供：あいおいニッセイ同和損保 ザ・フェニックスホール、撮影：松浦隆)

井上 玲さん (リコーダー奏者)

地元・大阪で古楽の振興に寄与することは私の目標の一つで、今回の受賞ではその道のりを一歩ずつ歩めていることが確認でき、大変嬉しく光栄に存じます。



片岡 千次郎さん (歌舞伎俳優)

この度は思いもよらず、栄えある賞を頂戴いたしまして、大変感激いたしております。お師匠様方はじめ諸先輩方のご指導と、スタッフの皆様や仲間の支えがあればこそと、皆様に感謝の気持ちで一杯でございます。



(撮影：堀川高志)

ばぶれるりぐる (主宰：竹田 モモコさん)

このような歴史のある賞をいただけて大変嬉しいです。「奨励賞」の名の通り、今後も良い作品を生み出せるよう、より一層精進してまいります。



「さすらうこえ\_さすらうからだ」メンバーズ

出会ひの日々のなかで漏れ出る表現、流れ去るような時間のなかで、ひとところ集い交わしたあの出来事がよかったよといってもらえて嬉しいです。